

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点						
L-2	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
調査地点														
L-2	37.8155°	140.9763°	R1.6.19	11:32	11:45	21.8	20.5	砂	7.5Y3/1	貝殻片	1.0	>1.0		

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点																
L-2	37.8155°	140.9763°	R1.6.19	11:32	8.1	0.7	4.6	8.7	4290	28.31	2.1	17	8.2	N.D. (0.0017)	0.030	0.0011

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)					
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)								
調査地点																										
L-2	37.8155°	140.9763°	R1.6.19	11:45	7.8	285	23.5	0.9	1.2	2.728	0.5	2.7	76.5	18.9	1.4	0.34	4.8	0.45	6.5	N.D. (0.12)						

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	R1.6.19	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.0086	—	—	—	5.2	N.D. (4.9)	5.2	—
					藻類・植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Ulva pertusa</i>	アナアオサ	—	0.25	—	—	—	—	1.3	N.D. (0.36)	1.3	—
					環形動物	多毛	イソメ	ギホシイソメ	<i>Lumbrineridae</i>	ギボシイソメ科	383	0.35	未成体/成体	—	—	4.4	N.D. (0.37)	4.4	—	
					環形動物	多毛	コカイ	コカイ	<i>Hediste sp.</i>	カワゴカイ属										
					環形動物	多毛	スビオ	ミスビコカイ	<i>Cirratulida</i>	ミスビキゴカイ科										
					節足動物	軟甲	エビ	テッポウエビ	<i>Alpheidae</i>	テッポウエビ科	25	0.028	未成体	—	—	1.5	N.D. (1.5)	1.5	—	
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon macrodactylus</i>	ユビナガスジエビ	94	0.045	未成体/成体	—	—	N.D.	N.D. (0.89)	N.D. (0.92)	—	
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Hemigrapsus sp.</i>	イソガニ属	158	0.18	未成体	—	—	2.0	N.D. (0.66)	2.0	—	
					軟体動物	二枚貝	マルスターレガイ	マルスターレガイ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	129	0.16	未成体/成体	—	軟体部	1.1	N.D. (0.49)	1.1	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ニキキンボ	<i>Pholis crassispina</i>	タケギンボ	24	0.046	未成魚/成魚	—	—	1.0	N.D. (1.2)	1.0	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>	アカオビシマハゼ	94	0.16	未成魚	—	—	0.94	N.D. (0.40)	0.94	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Acentrogobius virgatus</i>	スジハゼ										
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Gobiidae</i>	ハゼ科										
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ										
脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Luciogobius guttatus</i>	ミミズハゼ	653	0.85	未成魚	—	—	1.2	N.D. (0.93)	1.2	N.D. (0.020)						
脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	ボラ															
脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ	2	0.21	成魚	コカイ類	内臓除去	1.0	N.D. (0.65)	1.0	—						

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン (浮遊藻類) とは、湖沼水または海水を40μmのプランクtonネット で濾した残留物を指す。

※6：河床付着物 (藻類を含む) とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。